



あいちの会 NEWS



第37号

発行責任者/北折健次郎 編集/あいちの会NEWS編集委員会

認定NPO法人 あいち骨髓バンクを支援する会 〒464-0006 名古屋市千種区光ヶ丘1-22-7-105

[電話&FAX] 052(712)0457 [E-mail] npoaiichi@tj9.so-net.ne.jp [HP] https://www.aichinokai.or.jp/



ご挨拶



平成が終わり、令和の時代になりました。この名古屋で日本初の民間骨髓バンクが出来たのは平成元年10月。日本骨髓バンク(発足当初は骨髓移植推進財団)が発足し、登録者数が50万人を超えたのが平成31年2月。平成は骨髓バンクの黎明から発展への時代でした。私たちが夢見た、造血細胞移植を希望する人が、全てドナーが見つかる時代は、(さい帯血移植やハプロ移植を含めれば)ある程度達成出来たと言っても過言ではないのかも知れません。しかし、まだ一部の特殊なHLA

型であったり、音信普通で連絡が取れないケース、提供のために休暇を取りやすい環境整備など、まだまだ骨髓バンクの抱える問題点は多く、特に新規若年層の登録が伸び悩み、現登録者の高齢化が進み、今後55歳でドナーを卒業されていく方がどんどん増えてくる現状を考えた場合、まだまだ登録への呼びかけは必要です。今後とも、あいちの会としても気を引き締めて頑張っていく所存です。最近、競泳選手やシンガーソングライターの話で、骨髓バンクに関心を持っていただいている方が多くいらっしゃいます。骨髓提供には、少なからずリスクが伴います。それを十分にご理解いただいた上で、登録をお願い致します。ちょっとした勇気が、確実に一人の命を繋ぐ懸け橋になることは間違いありません。よろしくお願ひ致します。

あいちの会も、今年度も無事に総会が終了し、決算報告がなされました。ここ数年は、毎年50万~100万円の赤字が続き、このままでは数年で破綻しかねません。認定NPOに認定されながら、それをうまく活かしてきれていないことを反省し、賛助会員等の獲得に本腰を入れていかなければと思います。是非、皆様方もご協力をお願い致します。 理事長 北折健次郎

決算報告

収入の部

科目	2018年度算額	2019年度予算
寄付金	2,200,452	3,000,000
賛助会費	180,000	550,000
販売売上	7,420	
その他	2,929	330,000
収入合計	2,390,801	3,880,000

支出の部

科目	2018年度算額	2019年度予算
推進活動費	46,374	400,000
普及啓発費	782,698	400,000
ボランティア活動費	108,475	100,000
通信費	325,184	300,000
事務所費(家賃・水道光熱費)	498,246	500,000
会報発送費	311,446	520,000
人件費(給与・通勤手当)	934,300	1,320,000
事務費・他	101,455	240,000
教育活動費	123,860	100,000
合計	3,232,038	3,880,000

収支差額▲ 841,237
次年度繰越金 3,096,515

「名古屋ウィメンズマラソン2019」にて広報活動

全国各所で行われるマラソン大会に骨髓バンクと書かれた黄色いタスキをかけて走るランナーさんをよく見かけます。当会のボランティアさんたちも各所でタスキをかけて走っています。

3月10日(日)、骨髓バンクを応援しているランナーさんを応援しようと名古屋ウィメンズマラソンで活動を行いました。しかし、どこで応援したらよいか…。そんな時、ある患者さんの講演会でご一緒だったフィットネスクラブのオーナーさんが「うちのスタジオの前で一緒に応援しよう」と声をかけて下さいました。スタジオ前にテントを張り、横断幕をかけて、ノボリを立て、当会のボランティアとスタジオ関係者と一緒に応援しました。初対面の方ばかりなのに全く違和感なく一緒に「骨髓バンク、頑張れ~!!!」。声に気付いたランナーさんたちも手を振り笑顔で応えて下さいました。ランナーさんたちにとってはタスキをかけることも手を振ることもかなりの負担になると聞いています。そんな中、タスキをかけたランナーさんたちは笑顔で私たちの前をさっそうと走り抜けて行きました。

当会のボランティアもランナーとして参加、元患者さんたちです。病気と闘い、元気になり、ランナーとして走る姿に勇気づけられました。また、応援団の中にも多くの元患者さんがいました。声が枯れるのではないかとと思うくらい元気に応援していました。

いつもお世話になっている地元新聞社の取材もあり、翌日の朝刊に掲載。当日も含め、広報活動としては効果大だったのではないのでしょうか。

様々な活動を通じて「骨髓バンク」を知っていただき、多くの患者さんに移植のチャンスが届くことを願っています。



ドナー登録会報告

平成31年1月～令和元年6月

実施日	実施場所	登録者数	実施日	実施場所	登録者数	献血ルーム	
						実施日	登録者数
1 / 7 (月)	蒲郡市役所	0	4 / 4 (木)	安城市医師会安城碧海看護専門学校	12		
1 / 7 (月)	官庁街献血	1	4 / 6 (土)	愛知学泉大学岡崎学舎	11	タワーズ20	
1 / 8 (火)	官庁街献血	1	4 / 14 (日)	弥富市文化広場	0	1 / 27 (日)	7
1 / 9 (水)	官庁街献血	3	4 / 15 (月)	中京大学豊田	0	2 / 16 (土)	14
1 / 17 (木)	一宮市環境センター	1	4 / 19 (金)	日進市役所	6	3 / 16 (土)	13
1 / 17 (木)	豊田市役所	0	4 / 25 (木)	東海工業専門学校金山校	4	3 / 19 (火)	5
1 / 18 (金)	東浦町役場	1	5 / 4 (土)	岡崎中央総合公園	5	4 / 28 (日)	7
1 / 31 (木)	東海工業専門学校	4	5 / 10 (金)	豊橋駅南口駅前広場	1	6 / 23 (日)	4
2 / 12 (火)	学校法人桜丘学園 桜丘高校	1	5 / 12 (日)	アピタ新守山	10	ゲートタワー26	
2 / 17 (日)	おしろタウン シャオ	4	5 / 20 (月)	豊橋事業所	6	2 / 16 (土)	10
2 / 20 (水)	名古屋東京海上日動日ビル	8	5 / 23 (木)	豊田市役所	2	3 / 16 (土)	6
2 / 21 (木)	東郷町役場	5	5 / 25 (土)	こまき産業フェスタ(パークアリーナ小牧)	1	大須	
2 / 27 (水)	南知多町役場	2	5 / 25 (土)	豊川市総合体育館(豊川市民まつり おいでん祭会場内)	2	2 / 16 (土)	12
3 / 1 (金)	豊明市役所	10	5 / 25 (土)	日赤豊田看護大学校	3	3 / 16 (土)	10
3 / 1 (金)	イオンモール新瑞橋	10	5 / 26 (日)	こまき産業フェスタ(パークアリーナ小牧)	5	豊田	
3 / 10 (日)	学生献血連盟スプリング献血キャンペーン	6	5 / 28 (火)	岡崎産業大学	1	5 / 12 (日)	6
3 / 14 (木)	シンテックホズミ	4	6 / 3 (月)	小島プレス工業株式会社 本社	2		
3 / 20 (水)	衣浦東部保健所	0	6 / 6 (木)	小島プレス工業株式会社 高岡工場	3		
3 / 24 (日)	ヨシヅヤ津島本店	7	6 / 9 (日)	イオン豊川店	4		
3 / 31 (日)	ピアゴ大治店	1	6 / 10 (月)	小島プレス工業株式会社 黒笹技術センター	2		

「説明会と語りべ」そして「ドナー登録会」

2月4日(月)、桜丘高等学校にて2月12日(火)の卒業献血とドナー登録会に向けての説明会と講演会が開催されました。卒業予定の3年生、約500名に向けてお話をさせていただきました。

最初に桜丘高等学校前理事長の満田先生から約30年前に亡くなった生徒さんのお話がありました。また、日本骨髄バンクが設立される前、同じ年に2名もの生徒が発病し残念なことに亡くなったとお話がありました。輸血も当時は同級生や先生たちの協力により確保していた事、そして学校には彼らたちの事を忘れないために銅像が建てられていること等も話されました。当時の無念さ、悲しみなど、先生からのお話を生徒たちは真剣に聞いていました。

その後、説明用DVDを観ていただき保健所より補足説明がありました。当会からは骨髄バンクの現状や必要性(特に若年層の登録の必要性)、移植について、献血の必要性を、また同行した元患者家族からは命の大切さや輸血の必要性などをお話いただきました。

卒業・入学・成人式用のチラシを骨髄バンクから取り寄せ、チャンスと共に配布。年齢的にすぐに提供は出来ませんが、早い時期から献血と骨髄バンクドナー登録に関心を持っていただければと思っています。

そして迎えた2月12日(火)の献血とドナー登録会。献血については2台の献血バスで採血、多くの生徒にご協力いただきました。ドナー登録については1名のご登録でしたが、提供まで考えたが故の登録見送りの生徒もいて、登録についての真剣さを感じることも出来ました。今後も継続的に卒業生に向けての献血、ドナー登録の広報活動が出来ることを願っています。



企業内登録会 (株)シンテックホズミ

3/14(木)、(株)シンテックホズミにて献血併行型ドナー登録会が行われました。献血、骨髄バンク登録ともに事前に予約していただいていたのでとてもスムーズに時間が流れました。また、検診の待ち時間にリーフレットなどを配布し広報活動も行いました。就業中に献血や登録を行うため、短時間で正確な情報提供を行わなければなりません。説明員研修会などで短時間の説明手順を学びましたが、実践を重ねることで私たちの技術も上がることを実感しました。

既にチャンスなどで登録、提供についてご理解いただいた登録会でしたのでとても効率的に時間をつかうことができました。提供の案内が届いた時に社内でのご理解がいただける環境づくりにご努力いただいていることにも感謝しています。そして、2015年から始まった骨髄バンク登録会、長きに渡り開催していただけることにも改めて感謝いたします。

日本骨髄バンクでは「ドナー休暇制度」について積極的に取り組んでいます。企業内登録会が拡大する中、休暇制度の必要性を改めて感じています。

活動報告

平成30年1月～令和元年6月

総会・理事会

5 / 2	会計監査	あいちの会事務所
5 / 17	2019年度第1回理事会	あいちの会事務所
5 / 26	2019年度定期総会	あいちの会事務所

普及啓発活動

1 / 20	ファーストキフ・ファミリーサーカス	名古屋市中小企業振興会館 7Fメインホール
2 / 18	ラジオ番組「勝手に応援BSJ」収録	FM愛知
2 / 23	ファーストキフ映画祭	ナディアパークデザインセンター 他
3 / 10	ウイメンズマラソン・名古屋シティマラソン応援	名古屋市内
5 / 5	春まつり稲沢	名古屋文理大学文化フォーラム全館&文化の丘公園
5 / 11	黄色いレシートキャンペーン	イオン熱田店
5 / 19	中部ウォーカーソン2019	モリコロパーク
6 / 2	春日井絆マラソン2019	マジオドライバースクール春日井校
6 / 15	第4回「ほらマッチなごや」	愛知学院大学名城公園キャンパス

財団・全国協議会・関連団体

3 / 2	東海北陸ブロックセミナー	石川県女性センター研修室
3/7-8-9	第41回日本造血細胞移植学会総会	大阪国際会議場
3 / 30	日本医学総会2019中部市民展示	ポートメッセなごや
5 / 18	2018全国骨髄バンクボランティアの集いin山形	天童ホテル
5 / 19	全国骨髄バンク推進連絡協議会総会・代表者会議	天童ホテル

語りべ

2 / 4	説明会・語りべ	桜丘高等学校
2 / 26	説明会・語りべ	安城更生看護専門学校
2 / 27	説明会・語りべ	安城碧海看護専門学校
3 / 1	語りべ(西尾LC)	西尾信用金庫本店
3 / 12	語りべ(稲沢LC)	稲沢商工会議所
3 / 28	説明会・語りべ	BSJシアター
4 / 9	説明会・語りべ	公立西知多看護専門学校
4 / 10	説明会・語りべ	豊橋看護学校・歯科衛生士専門学校
4 / 23	語りべ	名古屋市立工芸高等学校
5 / 7	語りべ	中部看護専門学校
5 / 24	NSM「骨髄移植推進キャンペーンミュージカル」決起大会 語りべ	アートピアホール
5 / 30	語りべ(さい帯血採取病院教育訓練における特別講演)	小石マタニティクリニック
6 / 14	語りべ	日本福祉大学東海キャンパス

推進活動

2 / 16	バレンタイン献血	名古屋市内献血ルーム
--------	----------	------------

会報発送

1 / 30	会報発送作業	あいちの会事務所
--------	--------	----------

贈呈式

3 / 2	「市民とつながる」NPOポスターコンテスト表彰式	名古屋市民活動推進センター
3 / 6	寄付金贈呈式	毎日新聞大阪社会事業団
3 / 26	「市民とつながる」NPOポスターコンテスト学生賞表彰式	名古屋市民活動推進センター
4 / 21	黄色いレシートキャンペーン贈呈式	イオン熱田店

会議・打ち合わせ

2 / 7	ファーストキフフェスタ説明会	名古屋市民活動推進センター
2 / 14	愛知県骨髄バンクドナー登録推進調整会議	愛知県庁本庁舎6階 正庁
2 / 21	ファーストキフ映画祭打合せ	名古屋市民活動推進センター
3 / 21	日本医学総会2019中部市民展示打合せ	シアターZONE
5 / 16	小島プレス工業(株)登録会打合せ	小島プレス工業(株)労働組合
5 / 16	講演会打合せ	日本福祉大学東海キャンパス
5 / 30	第7回「ほらマッチなごや」説明会	愛知学院大学名城公園キャンパス
6 / 20	登録会打合せ(一宮LC)	オリナス一宮

勉強会・研修会

2 / 9	骨髄バンク地区普及広報委員・説明員研修会	オルバースビルディング名古屋
2 / 11	第1回AYA研学術集会	名古屋国際会議場レセプションホール
6 / 1	説明員養成研修会	名古屋市民活動推進センター

患者支援活動

3 / 5	患者会打合せ	あいちの会事務所
6 / 22	患者会「はなのきの会」	名古屋第一赤十字病院会議室

その他

3 / 21	NCA・NSM卒業式	ウェスティンナゴヤキャッスル
--------	------------	----------------



「春まつり!稲沢」にて広報活動



5月5日(日)、名古屋文理大学文化フォーラム全館(稲沢市民会館)&文化の丘公園にて「春まつり!稲沢」が開催されました。当会はブースを出展、広報活動を行いました。

真夏のような暑さの中、9時30分のイベント開始前から多くの方が来場。特に若いファミリーが多かったように感じました。リーフレットとハローキティのポケットティッシュを配布させていただきました。若い方々に骨髄バンクを知っていただく良い機会だったと思います。

「登録しています」という方もいらっしゃいました。「住所変更がしてないので変更の手続きを教えてください」とブースに立ち寄ってくださった方もいらっしゃいました。「以前から登録を考えていたが、今は子育てで入院などができないが将来は登録したいと思う」と詳しい話を聞いて下さった方、「今日は登録が出来ないの」とブースに立ち寄った方もいらっしゃいました。「献血はいつも行っています」という方も…。詳しいことを尋ねてくださる方が多かったように感じました。会場内には市長もいらっしゃいました。すぐに駆け寄りご挨拶。助成金制度についてもお願いしてきました。

今回の出展は稲沢ライオンズクラブやイベント実行委員の皆様方のご厚意により参加することができました。多くの方との出会いにより活動の場が広がることは本当にうれしいです。まだまだ「骨髄バンク」をご存知ない方が多くいらっしゃいます。様々な場所での広報活動がドナー登録拡大につながると嬉しいです。



水谷久美



患者会「はなのきの会」開催



6月22日(土)、名古屋第一赤十字病院にて患者会を開催しました。同病院の血液内科医にもご協力いただき、16名の方が参加しました。造血幹細胞移植後、命さえ助かれればという時代からその後の人生を考えられる時代になりました。今回も移植後数年から2、30年クラスの患者さんにも参加していただきました。

今回の大きなテーマは「予防接種」。接種の時期やどのワクチンを(優先的に)接種したらよいか、また移植手帳についての必要性も学ぶことができました。体力が戻らない、病院や薬、医師との付き合い方の悩みや、会社や社会とつながって働きながら治療を受けられる「テレワーク」についても参加者からお話していただきました。

患者会終了後は会場を変えて親睦会の開催。患者会には参加できなかった患者さんも加わり、和やかな時間を過ごす事が出来ました。

あいちの会主催の患者会が今後の健康管理に役立てていただけたらと思います。秋には女性限定の患者会「女子会」を開催予定です。詳細が決まりましたら、ホームページやFacebookにてお知らせします。お楽しみに!! 森本美穂





「語りべ」活動

【更生看護専門学校】

2月26日(火)、4月から医療現場で働く三年生対象の講演、大変興味をもって聞いてくれました。

私からは患者としての体験談をお話しました。治療中は献血からの輸血にお世話になったこと、骨髄バンクでドナーが見つからなくて残念だったこと、入院が長く無菌室に入る機会が多い血液がんの患者にとって看護師は大きな心の支えであること。また学生に対して講演するときは治療中のこと以外にも、就労や妊孕性などAYA世代特有の問題について実体験を交えながら伝えています。将来の医療従事者である学生に何か感じてもらえたら嬉しいなと思いながらお話させていただきました。

野寄容平



「語りべ」活動

【中部看護専門学校】

5月7日(火)に、「看護の日記念行事講演」として中部看護専門学校5階講堂にて学生125名を対象に「いのちのバトンリレー」～造血細胞移植によってつながるいのち～と題して講演を行ってきました。

5月12日は、フローレンス・ナイチンゲールの生誕の日です。この日を記念して平成3年に「看護の日」と制定されたそうです。中部看護専門学校では、毎年、記念行事を開催。2019年度の行事として「いのちの授業」の講演を開催していただく事ができました。事務局から移植について、骨髄バンクについて、骨髄バンクの現状、問題点や課題をお話させていただき、その後、元患者さんとドナー体験者にご登壇いただき、三者でトークショー形式でお話させていただきました。

元患者さんからは病気になった時の気持ち、その後現在に至るまでの気持ち、そしてドナーさんに対する感謝の気持ちなどをお話いただきました。ドナー体験者の方からは登録のきっかけから、提供に至るまでの想い、そして現在の想いを語っていただきました。また、患者さんからのお礼のお手紙に対するお気持ちなども語っていただきました。

現在の骨髄バンクの大きな課題でもある若年層へ向けての広報活動とドナー登録拡大。まずは知っていただく事から始める。コツコツではありますが、この活動が将来のドナー登録拡大につながる事を願っています。



「語りべ」活動

【日本福祉大学東海キャンパス】

6月14日(金)、日本福祉大学東海キャンパスにて看護学部3年生約100名・教員10名を対象に語りべ活動を行ってきました。日本福祉大学東海キャンパスでは毎年学園祭で献血と共に骨髄バンクの登録会を行っています。そして、今回、初めて講演をさせていただきました。まず、あいちの会の水谷が造血幹細胞移植について話をしました。その後、水谷との対談形式で闘病体験について私がお話しました。大学の先生方から事前に話す内容の提案をいただき、診断時や移植前の心境、妊孕性について、社会復帰への思い、看護師との関わりで心に残っていることなどを約1時間話した後、質疑応答を受けました。

今回の講演会を振り返って…。自分の闘病体験を詳しい事まで話したのが初めてでした。抗がん剤治療について詳しく聞かれたときに把握しておらず、答えることができなかつたところもあり反省。入院中、私にとって看護師さんは非常に信頼できる存在だったから安心して治療を受けることが出来たと今感じています。患者と信頼関係を築くことの大切さを学生さんに伝えたかったのですが、その信頼を築くまでの具体的なエピソードを話せなく、伝わりづらかったように思います。ここも反省点です。講演会は16時開始で、学生の皆さんはお疲れだったと思いますが、一生懸命聞いてくれて嬉しかったです。質疑応答の時、学生さんがどんなことに疑問を持っているかが分かり、今後の講演活動の参考にさせていただきたいと思いました。学生さんの感想などが書かれた振り返りシートを後日郵送してくださるとのこと、非常に楽しみです。

安田真美



「ボランティアの集いin山形」他に参加



5月18日(土)、山形県天童市にて開催された『2019全国骨髄バンクボランティアの集いin山形』と19日(日)開催、『全国骨髄バンク推進連絡協議会 通常総会及び代表者会議』に参加してまいりました。ボランティアの集いのパネルディスカッションでは、骨髄移植経験者、骨髄提供経験者双方から体験談や当時の思いなどのお話を伺うことが出来ました。どのお話もとても印象深かったのですが、その中でも特に心に残った言葉は、移植経験をされて、現在はお元気になられた方が『自分が移植を受けることで、命を助けてもらったのに、今度は同じように大変な思いをされている方への恩返し(献血やドナーなど)がしたくても出来ないことが悲しくて苦しく思っている…。でも、今現在仕事として、がん治療装置の開発に携わっており、日々恩返しする気持ちで働いている』という内容です。

私は今回参加をして、様々なお話を伺うことで、ドナー経験者として、あいちの会のボランティアメンバーとして、今後どんな活動をしていけばいいか、どんな風にお役に立てることが出来るかどうかを改めて考えるきっかけになりました。また、懇親会では移植経験をされて現在ボランティア活動をされている方々にたくさんお会いして、皆様の様々な活動に対する温かい思いに触れ、多くの気付きを得ることができました。

翌日の通常総会及び代表者会議にはオブザーバーとして参加してまいりました。代表者会議では、全国の各団体からの活動報告があり、多くの刺激を受けました。今後、説明員の養成研修を受け、更に骨髄バンクとそれらを取り巻く環境について学びを深め、これからも様々な活動を通して会に貢献していきたいと考えております。

船木陽子



寄付者名簿 ～多くの方のご協力に深く感謝申し上げます～ 平成31年1月～令和元年6月 順不同・敬称略

月	寄付者氏名	金額	月	寄付者氏名	金額	月	寄付者氏名	金額
1	東海ろうきんNPO寄付システム	51,700	3	毎日新聞大阪社会事業団	600,000	5	コンドウテルヒサ	20,000
2	東海ろうきんNPO寄付システム	40,700		水谷久美	10,420		光ヶ丘女子高等学校	32,000
	榊原博行	10,000		鈴木敏生	2,400		河橋宏政	5,000
	山田重子	30,000		鈴木敏生	10,000		朝比奈邦子	5,000
	朝倉三恵	3,000		名古屋市民活動推進センター(ファーストキフ)	37,049		今泉博充	10,000
	(株)デンソー	10,000	4	東海ろうきんNPO寄付システム	40,500		名古屋市民活動推進センター(ポスター展)	70,000
3	中神立善	5,000		旭観業組合	301,014		ウォーカーソン募金箱	2,572
	磯貝弘	3,000	5	鶴飼孝一	10,000	6	東海ろうきんNPO寄付システム	40,000
	東海ろうきんNPO寄付システム	40,500		東海ろうきんNPO寄付システム	40,600		秋田有加里	10,000

寄付金贈呈式に出席

【小児がん征圧募金】

3月6日(水)、毎日新聞大阪社会事業団にて寄付金の贈呈式が行われました。読者からの「生きる 小児がん抑圧キャンペーン」に寄せられた「小児がん征圧募金」を毎年多くの団体にご寄付、2018年度は11団体、各60万円が寄付されました。あいちの会のご寄付をいただいて15年以上になります。長きに渡りご寄付をいただけることに感謝しています。と同時に責任ある活動を続けなければと改めて感じました。今年は11団体すべてが出席の贈呈式でした。他団体との交流もあり、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

いただいたご寄付は皆様からのお気持ちを大切に使用させていただきます。

水谷久美

【黄色いレシートキャンペーン贈呈式】

4月21日(日)、イオンモール熱田にて行われた「2018イオン黄色いレシート贈呈式」に出席してきました。幸せの黄色いレシートとは、毎月11日の「イオン・デー」に実施しており、お客さまがレジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXに投函していただくことで、レシート合計の1%分の品物をイオンが各団体に寄贈する取り組みです(引用先:イオン黄色いレシートキャンペーン)。贈呈式では、最初にキャンペーンの主旨説明などがされました。この取り組みは2001年から始まり、2017年2月までで31億1,540万円相当の品物が団体に贈呈されてきたそうです。今回イオンモール熱田では、28団体、計1,224,900円を各団体に寄付されました。

次に、ギフトカードが各団体に贈呈、各団体が登壇し、団体紹介などスピーチを行いました。あいちの会は91,700円分のギフトカードをいただきました。今回のご寄付でミニコピアを購入させていただきました。イオンモール熱田、そしてあいちの会に賛同し、レシートを投函してくださった方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

また、当会はマックスバリュ太閤店からもご寄付をいただいています。2018年度は55,200円の贈呈、プリンターカートリッジインクやコピー用紙などに交換させていただきました。

今後も店頭でのイエローレシートキャンペーン活動ではまたご支援していただけるようお声かけしていこうと思います。 安田真美



「市民とつながる」NPOポスターコンテストに参加、第一位になりました。



「市民とつながる」NPOポスターコンテストとは、身の回りにあるいろいろな困りごとを解決しようと日々頑張っているNPOの思いを伝えるポスターを展示、「応援したい!」と思ったNPOに投票いただき、投票によって、NPOに賞金が分配されます。(引用:名古屋市民活動推進センター)

当会は今回初めてコンテストに参加、名古屋芸術大学の学生さんにお手伝いいただきました。2名の学生さんに作品を制作いただき、内1点を応募しました。どちらの作品も甲乙つけがたく、選考するのに苦労しました。1月20日から2月23日まで市民活動推進センターや大型スーパーなど市内各所に作品を展示、市民の方にご投票いただきました。参加団体13団体、なんと当会が1位を獲得しました。多くの方々の応援を実感しました。

各投票会場においてあいちの会への投票数がトップでしたが、facebookでの投票数が他の団体より少なかったです。今後はSNSでの発信が課題のようです。今回の活動に参加してこれからも地道にコツコツと活動していこうと思いました。

安田真美



マンスリーレポートから

R1.7.14 <http://www.jmdp.or.jp/data>

日本骨髄バンクの現状(令和元年6月末現在)

	5月	6月	現在数	累計数
ドナー登録者数	4,737	4,663	518,848	794,919
患者登録者数	243	226	2,249	56,873
移植例数	101	103	—	23,314

■ 6月年代別ドナー登録者数(現在数)

10代	5,833人
20代	76,276人
30代	139,404人
40代	221,117人
50代	73,218人

■ 6月の20歳未満の登録者/704人

■ 6月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム/1,368人、献血併行型集団登録会/3,092人、集団登録会/75人、その他/128人

■ 6月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数: 752件 注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

愛知県	血液センター登録数			(移植例数 23,314例、採取数 23,324例)			
	6月登録者数	6月取消数	累計	患者居住地	移植数	提供者居住地	採取数
	93	92	21,063	1,395	1,995	1,409	1,730

※採取されたものの移植に至らなかったケース10例が含まれているため移植数と採取数は一致しません。

事務局だより

※2018年度も皆様方のご支援、ご協力のもと無事終わることが出来ました。ありがとうございます。2019年度もスタートして約4ヶ月。名古屋市への事業報告書などの提出も6月に終え、少しだけのんびりした日々を送っています。登録会や広報活動や語りべ活動、そして事務作業、健康に気を付けてこれからも頑張ります。今後ともよろしくお願いいたします。

※先日、ある患者さんからメールをいただきました。当会の会報を病院で見て連絡をくださいました。早速、会いに行きました。発病から現在に至るまでの様々なおもい、移植後の体調についての不安などをお話くださいました。お母様もご一緒でした。お二人とお話して患者さんやご家族のおもいをうかがうことの大切さを改めて感じました。

※昨年度も看護専門学校や大学の看護学部での「語りべ」活動の機会をたくさんいただきました。最近では日赤や行政からの講演依頼もあり、多くの方に骨髄バンクの事、病気の事、移植の事を知っていただけます。毎回、患者さんやご家族、ドナー体験者にもご同行いただいておりますが、皆様のお話は聞いている皆様の心に響きます。すぐに登録に結びつかないことも多々ありますが、まずは知っていただく事だと思っています。今後もいろいろな場所でいろいろな方にお話が出来ると嬉しいです。

お知らせ

ホームページをリニューアルしました。とても見やすくなりました。パソコンはもちろんスマホでもわかりやすく見ることが出来ます。今後は活動報告なども積極的にアップしていきたいと思っています。楽しみにしててください。

<https://www.aichinokai.or.jp>

ご寄付のお願い

あいち骨髄バンクを支援する会の活動は皆様の善意に支えられています。いただきましたご寄付は骨髄バンクドナー登録の拡大のため、また血液難病の患者さんやそのご家族のお力になれますよう、大切に使用させていただきます。ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

寄付受付

| 一般寄付

この会の趣旨に賛同し、継続的にご寄付をいただける個人、企業及び団体。

| 賛助会員

※企業及び団体
一口30,000円/年
※個人
一口10,000円/年

ボランティアについて

| ボランティア会員

この会の趣旨に賛同し、運営や活動に直接関わっていただける方。(会費無料) 会報や活動報告、イベント案内、骨髄バンクの情報などをお送り致します。



銀行口座
三菱UFJ銀行
金山支店 普通3654780

郵便振替口座
00890-0-76637

あいち骨髄バンクを支援する会は、名古屋市より「認定特定非営利活動法人(認定NPO)」として認められました。これにより、2016年2月2日より当NPOにご寄付頂ける個人・法人の皆さまは、寄付金控除の税法上の優遇措置を受けることが出来るようになりました。(所得税・相続税)

認定特定非営利活動法人
あいち骨髄バンクを支援する会